

令和6年度

仙北市

「全国学力・学習状況調査」

結果分析・改善委員会

報 告 書

令和7年1月

I 報告書の作成にあたって

本報告書は、「仙北市『全国学力・学習状況調査』結果取扱要綱」に則って作成した。
報告書作成の基本的な立場については「第2条（結果の公表）」に基づき、また、その内容については、「第4条（改善策の立案）」の規定に従っている。

（結果の公表）

第2条

仙北市教育委員会は公立学校設置管理者として地域住民及び保護者に対して結果についての説明責任があることから、次のことに配慮しながら本調査の結果を公表する。

- (1) 教科に関する調査結果の数値による公表や、個々の学校名を明らかにした公表など、結果の公表が学校間の序列化や過度な競争につながるような公表は行わないこと
- (2) 本調査の結果から教育及び教育施策の成果と課題を把握しその改善を図る必要があること
- (3) 本調査の結果の分析を踏まえて仙北市教育委員会として今後の改善方策を併せて示す必要があること
- (4) 本調査により測定した学力は特定の一部であること
- (5) 本調査により測定した学力は固定値ではなく変化するものであること

（改善策の立案）

第4条

結果を受けた改善策は仙北市教育委員会北浦教育文化研究所「研究主任部会」及び「算数・数学学習指導研究委員会」、「国語学習指導研究委員会」に研究推進アドバイザーを加えた「仙北市『全国学力・学習状況調査』結果分析・改善委員会」において、次の内容について立案し教育委員会に報告する。

- (1) 主として「知識」に関する問題について、結果に応じてその内容を確実に児童生徒に身に付けさせる方策について
- (2) 主として「活用」に関する問題について、実生活の様々な場面に活用する力や様々な課題解決のための構想を立て、実践し、評価改善する力を身に付けさせるための授業改善のあり方について
- (3) 改善のための仙北市教育委員会の教育施策のあり方について
- (4) その他

以上の点を踏まえて、仙北市教育委員会が仙北市民に対する説明責任を果たし、学校の教育及び教育委員会の教育施策の改善に資することを目的として本報告書を作成した。

Ⅱ 調査の概要

1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 実施主体 文部科学省

3 参加主体 市町村教育委員会

4 調査の対象

【小学校調査】

小学校第6学年、義務教育学校前期課程第6学年、特別支援学校小学部第6学年

【中学校調査】

中学校第3学年、義務教育学校後期課程第3学年、
中等教育学校前期課程第3学年、特別支援学校中学部第3学年

5 調査事項及び手法

① 児童生徒に対する調査

ア 教科に関する調査〔国語、算数・数学〕

国語、算数・数学はそれぞれの（ア）と（イ）を一体的に出題。

（ア）身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、
実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能 等

（イ）知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力 等

イ 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問紙調査を実施。

② 学校に対する調査

学校における指導方法に関する取組や学校における人的・物的教育条件の整備の状況等に関する質問紙調査を実施。

6 調査の方式 悉皆調査

7 調査期日 令和6年4月18日（木）

8 4月18日に調査を実施した児童生徒数・学校数

小学校児童数	児 童 数（人）		
	国語	算数	質問紙
全国（公立）	947,364	947,579	
秋田県（公立）	5,800	5,797	
仙北市教育委員会	130	130	135

中学校児童数	生 徒 数（人）		
	国語	数学	質問紙
全国（公立）	875,574	875,952	
秋田県（公立）	6,230	6,229	
仙北市教育委員会	154	154	154

調査実施校数	4月18日に調査を実施した小学校 義務教育学校前期課程 特別支援学校小学部	4月18日に調査を実施した中学校 義務教育学校後期課程 中等教育学校前期課程 特別支援学校中学部
全国（公立）	18,529校	9,347校
全国（国立）	75校	80校
全国（私立）	246校	801校
合計	18,850校	10,228校
仙北市教育委員会	6校	5校

Ⅲ 結果

- ※ 本調査は、幅広く児童生徒の学力や学習状況等を把握することなどを目的として実施しているが、実施教科が国語、算数・数学の2教科であり、また、必ずしも学習指導要領全体を網羅するものではない。従って、本調査の結果については児童生徒が身に付けるべき学力の特定の一部であることや、学校等における教育活動の一側面にすぎないことに留意する必要がある。
- ※ 「仙北市『全国学力・学習状況調査』結果取扱要綱」第2条に基づき、教科に関する調査結果の数値による公表は行わない。〈表2〉の階層区分と表現による公表としている。

1 教科に関する調査の結果

(1) 概要

本調査における全国調査校（以下、全国）及び秋田県調査校（以下、秋田県）の平均正答率と仙北市調査校（以下、仙北市）の平均正答率を、小学校6年国語・算数、中学校3年国語・数学のそれぞれで比較して、その状況が良好であるものを「成果」として、また、改善のために検討の余地があるものを「課題」として以下に示す。

【成果】

- ① 国及び秋田県の平均正答率と仙北市の平均正答率を比較した場合、〈表1〉にあるように、仙北市の小学校6年生の国語・算数の学習状況は「概ね満足できる状況」である。
- ② 国及び秋田県の平均正答率と仙北市の平均正答率を比較した場合、〈表1〉にあるように、中学校3年生の国語・数学の学習状況は「概ね満足できる状況」である。

【課題】

- ① 秋田県の平均正答率と仙北市の平均正答率を比較した場合、小学校6年生国語において仙北市が若干下回っている。
- ② 国の平均正答率と仙北市の平均正答率を比較した場合、中学校3年生国語において仙北市が若干下回っている。
- ③ 国の平均正答率と仙北市の平均正答率を比較した場合、小学校6年生算数と、中学校3年生数学において仙北市が下回っている。

〈表 1〉：全国及び秋田県の平均正答率との比較（教科別）

学年	教科等	区分	平均正答率	仙北市の状況
小学校 6年	国語	全国(公立)	67.7%	概ね満足できる状況
		秋田県(公立)	73%	概ね満足できる状況
	算数	全国(公立)	63.4%	概ね満足できる状況
		秋田県(公立)	65%	概ね満足できる状況
中学校 3年	国語	全国(公立)	58.1%	概ね満足できる状況
		秋田県(公立)	60%	概ね満足できる状況
	数学	全国(公立)	52.5%	概ね満足できる状況
		秋田県(公立)	53%	概ね満足できる状況

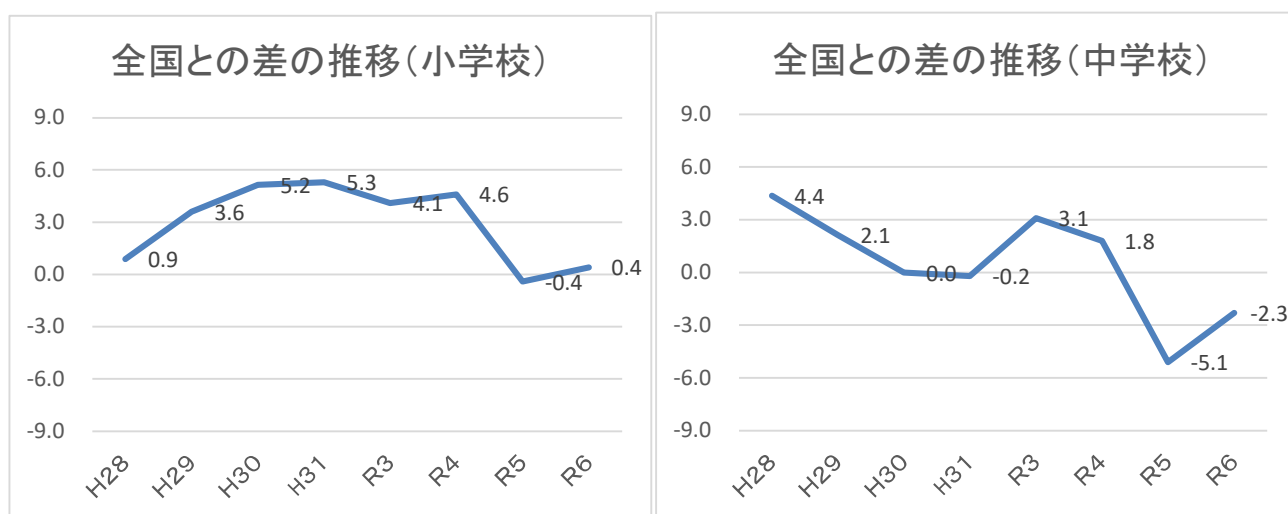
※〈表 1〉の「仙北市の状況」は、国及び県の平均正答率と比較し、〈表 2〉の表現にしたがって示した。

〈表 2〉：〈表 1〉の「仙北市の状況」に係る階層区分と表現（以下の表同じ）

	階層区分	表現
1	国及び県の平均正答率と仙北市の平均正答率の差が +6%以上であるもの	十分満足できる状況
2	国及び県の平均正答率と仙北市の平均正答率の差が +6%未満～-6%より大きい状況であるもの	概ね満足できる状況
3	国及び県の平均正答率と仙北市の平均正答率の差が -6%以下であるもの	改善が必要な状況

※〈表 2〉は「仙北市『全国学力・学習状況調査』結果取扱要綱」第 3 条（別表 2）による。

〈グラフ 1〉：全国と仙北市との平均正答率の差の推移（実施した全教科の平均）



(2) 設問分類・区分別集計結果から

本調査における設問を「学習指導要領の領域」「評価の観点」「問題形式」で分類し、全国及び秋田県と仙北市の平均正答率を比較して、その状況が良好であるものを「成果」として、改善のために検討の余地があるものを「課題」として以下に示す。

【成果】

- ① 全国と仙北市の平均正答率の比較では、小学校6年の国語と中学校3年の国語において、全ての区分で「概ね満足できる状況」あるいは「十分満足できる状況」である。
- ② 同様に全国と仙北市の平均正答率の比較からは以下のことが言える。
 - ア) 小学校6年国語では、ほとんどの区分において全国の平均正答率を上回っており、「指導要領の内容」の「書くこと」および「読むこと」、「評価の観点」の「思考・判断・表現」、「問題形式」の「記述式」が「十分満足できる状況」にある。
 - イ) 小学校6年算数では、「指導要領の領域」の「データの活用」が、全国の平均正答率を上回っている。
 - ウ) 中学校3年国語では、「指導要領の内容」の「我が国の言語文化に関する事項」および「話すこと・聞くこと」、「問題形式」の「短答式」が全国の平均正答率を上回っている。
 - エ) 中学校3年数学では、「指導要領の領域」の「関数」および「データの活用」、「問題形式」の「選択式」が全国の平均正答率を上回っている。
- ③ 秋田県と仙北市の平均正答率の比較からは以下のことが言える。
 - ア) 小学校6年国語では、全ての区分において、「概ね満足できる状況」であり、「指導要領の内容」の「書くこと」および「読むこと」、「評価の観点」の「思考・判断・表現」、「問題形式」の「記述式」が県の平均正答率を上回っている。
 - イ) 小学校6年算数では、ほとんどの区分において、「概ね満足できる状況」である。
 - ウ) 中学校3年国語では、全ての区分において、「概ね満足できる状況」であり、「問題形式」の「選択式」が県の平均正答率を上回っている。
 - エ) 中学校3年数学では、ほとんどの区分において、「概ね満足できる状況」であり、「問題形式」の「選択式」が県の平均正答率を上回っている。

【課題】

- ・ 秋田県と仙北市の平均正答率を比較した場合、次のような課題がある。
 - ア) 小学校6年国語では、「指導要領の内容」の「言葉の特徴や使い方に関する事項」、「問題形式」の「短答式」で県の平均正答率を下回っている。
 - イ) 小学校6年算数では、全ての区分で県平均正答率を下回っており、「指導要領の領域」の「数と計算」および「変化と関係」で改善が必要な状況である。
 - ウ) 中学校3年国語では、ほとんどの区分で県平均正答率を下回っており、「指導要領の内容」の「言葉の特徴や使い方に関する事項」で改善が必要な状況である。
 - エ) 中学校3年数学では、ほとんどの区分で県平均正答率を下回っており、「指導要領の領域」の「数と式」で改善が必要な状況である。

〈表 3－(1)〉：「小学校 6 年国語」の設問分類・区分別集計結果

分類	区分	対象 設問数	秋田県平均正答率 (公立)%	全国平均正答率 (公立)%	仙北市の状況	
					県との比較	国との比較
指導 の要 内領 容	言葉の特徴や使い方に関する事項（知・技）	4	67.7	64.4	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
	情報の扱い方に関する事項（知・技）	1	90.2	86.9	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
	我が国の言語文化に関する事項（知・技）	1	81.1	74.6	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
	話すこと・聞くこと（思・判・表）	3	65.7	59.8	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
	書くこと（思・判・表）	2	75.2	68.4	概ね満足できる状況	十分満足できる状況
	読むこと（思・判・表）	3	76.6	70.7	概ね満足できる状況	十分満足できる状況
評価 点の	知識・技能	6	73.7	69.8	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
	思考・判断・表現	8	72.1	66.0	概ね満足できる状況	十分満足できる状況
	主体的に学習に取り組む態度	0				
問題 形式	選択式	10	74.3	69.9	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
	短答式	2	63.2	59.7	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
	記述式	2	75.0	64.6	概ね満足できる状況	十分満足できる状況

〈表 3－(2)〉：「小学校 6 年算数」の設問分類・区分別集計結果

分類	区分	対象 設問数	秋田県平均正答率 (公立)%	全国平均正答率 (公立)%	仙北市の状況	
					県との比較	国との比較
指導 の要 領 域	A 数と計算	6	68.7	66.0	改善が必要な状況	概ね満足できる状況
	B 図形	4	67.8	66.3	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
	C 測定	0				
	C 変化と関係	3	50.3	51.7	改善が必要な状況	改善が必要な状況
	D データの活用	4	65.1	61.8	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
評価 点の	知識・技能	9	73.8	72.8	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
	思考・判断・表現	7	54.0	51.4	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
	主体的に学習に取り組む態度	0				
問題 形式	選択式	5	76.6	75.3	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
	短答式	7	63.1	62.0	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
	記述式	4	54.6	51.0	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況

〈表 3－(3)〉：「中学校 3 年国語」の設問分類・区分別集計結果

分類	区分	対象 設問数	秋田県平均正答率 (公立)%	全国平均正答率 (公立)%	仙北市の状況	
					県との比較	国との比較
指導 の要 内領 容	言葉の特徴や使い方に関する事項 (知・技)	3	62.3	59.2	改善が必要な状況	概ね満足できる状況
	情報の扱い方に関する事項 (知・技)	2	59.2	59.6	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
	我が国の言語文化に関する事項 (知・技)	1	79.7	75.6	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
	話すこと・聞くこと (思・判・表)	3	61.0	58.8	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
	書くこと (思・判・表)	2	67.8	65.3	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
	読むこと (思・判・表)	4	49.5	47.9	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
評価 点の	知識・技能	6	64.2	62.0	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
	思考・判断・表現	9	57.4	55.4	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
	主体的に学習に取り組む態度	0				
問題 形式	選択式	9	63.0	61.0	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
	短答式	3	63.8	61.8	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
	記述式	3	48.0	45.5	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況

〈表 3－(4)〉：「中学校 3 年数学」の設問分類・区分別集計結果

分類	区分	対象 設問数	秋田県平均正答率 (公立)%	全国平均正答率 (公立)%	仙北市の状況	
					県との比較	国との比較
指導 領域 の要 内領 容	A 数と式	5	50.9	51.1	改善が必要な状況	改善が必要な状況
	B 図形	3	37.9	40.3	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
	C 関数	4	61.5	60.7	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
	D データの活用	4	57.0	55.5	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
評価 点の	知識・技能	11	63.2	63.1	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
	思考・判断・表現	5	29.4	29.3	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
	主体的に学習に取り組む態度	0				
問題 形式	選択式	5	58.7	58.5	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
	短答式	6	67.0	67.0	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
	記述式	5	29.4	29.3	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況

(3) 各設問の集計結果から

ここでは、仙北市の状況の中で学年・教科・区分について、設問ごとの結果から改善のために検討の余地があるもののうち、仙北市の研究テーマである「言語活動の充実」に関わるものについて示す。

①小学校6年「国語」について

☆「設問番号 3 一」

「【物語】の一文の中の「かがやいています」の主語として適切なものを選択する」では、「文の中における主語と述語の関係を捉えること」に課題がある。

この設問は「学習指導要領の内容」では「言葉の特徴や使い方に関する事項」、「評価の観点」では「知識・技能」、「問題形式」では「選択式」に分類・区分される設問である。

一 原さんは、【物語】の「かがやいています」について、かがやいているのは何だろうと考えています。次の部「かがやいています」の主語として適切なものを、あとの1から4までの一つを選んで、その番号を書きましょう。

1 もやが

2 そして

3 巢は

4 まぶしく

はらっぱじゅうの もやが、ひかりの雲にかわり、そして、そのまんなかで、オニグモじいさんの 巢は、かぞえきれない ほどたくさんのお日さまでできているように、きらきら、きらきらと、まぶしく かがやいています。

<指導の改善点>

- ◆ 主語と述語の関係、修飾と被修飾の関係、指示する語句と接続する語句の役割、段落の役割について理解できるようにする。

②小学校6年「算数」について

☆「設問番号 4 (3)」

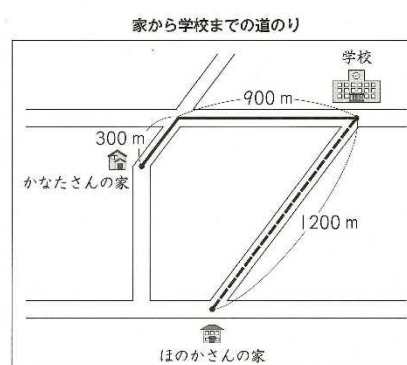
「家から学校までの道のりが等しく、かかった時間が異なる二人の速さについて、どちらが速いかを判断し、そのわけを書く」では、「道のりが等しい場合の速さについて、時間を基に判断し、その理由を言葉や数を用いて記述すること」に課題がある。

この設問は「学習指導要領の領域」では「変化と関係」、「評価の観点」では「思考・判断・表現」、「問題形式」では「記述式」に分類・区分される設問である。

<指導の改善点>

- ◆ 場面に応じて速さの比べ方を考察し、自分の言葉で表現できるようにする。

(3) かなたさんとほのかさんは、それぞれの家から学校まで歩いて行きました。



家から学校までの道のりは、上の図のとおりです。

家から学校まで、かなたさんは20分間、ほのかさんは24分間かかりました。

それぞれの家から学校までの歩く速さを比べると、かなたさんとほのかさんのどちらが速いですか。

下の1と2から選んで、その番号を書きましょう。

また、その番号を選んだわけを、言葉や数を使って書きましょう。

- 1 かなたさん
2 ほのかさん

2 児童生徒質問紙調査の結果

(1) 概要

本調査における児童生徒質問紙調査について、仙北市の特に顕著な傾向がみられるものについて示す。

全国及び秋田県の状況と比較した場合、仙北市の小学校6年生と中学校3年生は、若干の課題はみられるものの、全体としては望ましい傾向にあると言える。

特に「意識の向上」「学習意欲」「地域や社会との関わり」「ICT機器の活用」に肯定的な回答率が高い傾向が見られた。

(2) 小学校6年生にみられる望ましい傾向

※ 「肯定的回答率」の高い質問

小学校6年生の質問事項63項目に対する回答のうち、「肯定的回答」の占める割合（質問紙の選択肢のうち「よくある」と「時々ある」、もしくは「している」と「どちらかといえば、している」、あるいは「当てはまる」と「どちらかといえば、当てはまる」等の割合）が、92%を超えた質問は、以下の表のとおりである。

NO	質問 番号	質問事項	肯定的 回答率
1	(1)	朝食を毎日食べていますか	97.8
2	(53)	算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	97.8
2	(43)	国語の勉強は大切だと思いますか	97.8
4	(51)	算数の勉強は大切だと思いますか	97.1
5	(15)	人の役に立つ人間になりたいと思いますか	97.0
6	(13)	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか	96.3
7	(3)	毎日、同じくらいの時刻に起きていますか	95.6
8	(25)	地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか	93.4
9	(28-2)	5年生までの学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を活用することについて、次のことはあなたにどれくらい当てはまりますか。分からないことがあった時に、すぐ調べることができる	93.3
9	(37)	授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切にして、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいますか	93.3

11	(45)	国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	92.6
11	(28-7)	5年生までの学習の中で PC・タブレットなどの ICT 機器を活用することについて、次のことはあなたにどれくらい当てはまりますか。友達と協力しながら学習を進めることができる	92.6

※ 全国との比較から

児童質問紙調査のうち、全国の小学校6年生の肯定的回答の割合と仙北市の小学校6年生の肯定的回答の割合を比較して、差が+5ポイント以上のものは次の表のとおりである。(県の割合との比較は参考のために示した。)

NO	質問 番号	質問事項	肯定的 回答率	全国 比較	県 比較
1	(42)	国語の勉強は好きですか	77.0	+15.0	+6.4
2	(25)	地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか	93.4	+9.9	+2.7
3	(50)	算数の勉強は好きですか	70.4	+9.4	+5.5
4	(56)	算数の問題が解けたとき、別の解き方を考えようとしていますか	71.8	+8.2	-1.1
5	(40)	学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいますか	90.3	+7.8	+1.8
6	(34)	学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか	88.2	+7.4	0.0
7	(57)	算数の授業で学習したことを、今後の学習で活用しようとしていますか	91.8	+7.2	+1.1
8	(60)	理科の授業では、自分の予想をもとに観察や実験の計画を立てていますか	91.9	+6.3	+2.6
9	(47)	国語の授業で、目的に応じて、話すために集めた材料を、いくつかのまとまりに分けたり結び付けたりしながら、伝える内容を考えていますか	85.9	+5.9	+0.7
10	(54)	算数の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できないか考えますか	83.7	+5.8	-0.9
11	(55)	算数の問題の解き方が分からないときは、あきらめずにいろいろな方法を考えますか	88.9	+5.6	+0.8

12	(59)	自然の中や日常生活、理科の授業において、理科に関する疑問を持ったり問題を見いだしたりすることがありますか	88.8	+5.6	+2.2
13	(14)	困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか	72.6	+5.5	+2.2
13	(28-7)	5年生までの学習の中で PC・タブレットなどの ICT 機器を活用することについて、次のことはあなたにどれくらい当てはまりますか。友達と協力しながら学習を進めることができる	92.6	+5.5	+1.1

※ 秋田県との比較から

児童質問紙調査のうち、秋田県の小学校6年生の肯定的回答の割合と仙北市の小学校6年生の肯定的回答の割合を比較して、差が+5ポイント以上のものは次の表のとおりである。

NO	質問 番号	質問事項	肯定的 回答率	県比較
1	(42)	国語の勉強は好きですか	77.0	+6.4
2	(50)	算数の勉強は好きですか	70.4	+5.5

(3) 小学校6年生にみられる課題とされる傾向

※ 「肯定的回答率」の低い質問

小学校6年生の質問事項63項目に対する回答のうち、「肯定的回答」の占める割合（質問紙の選択肢のうち「よくある」と「時々ある」、もしくは「している」と「どちらかといえば、している」、あるいは「当てはまる」と「どちらかといえば、当てはまる」等の割合）が、30%未満の質問は、以下の表のとおりである。

NO	質問 番号	質問事項	肯定的 回答率
1	(22)	土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか ※2時間以上と答えた児童	6.7
2	(24)	新聞を読んでいますか	9.6
3	(21)	学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか ※2時間以上と答えた児童	11.1

※ 全国との比較から

児童質問紙調査のうち、全国の小学校 6 年生の肯定的回答の割合と仙北市の小学校 6 年生の肯定的回答の割合を比較して、差が－ 8 ポイント以下のものは次の表のとおりである。

NO	質問 番号	質問事項	肯定的 回答率	全国比 較
1	(6 1)	英語の勉強は好きですか	51.8	-17.5
2	(2 1)	学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1 日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか ※ 2 時間以上と答えた児童	11.1	-12.4
3	(6 3)	英語の授業の内容はよく分かりますか	66.7	-11.6
4	(2 7)	5 年生までに受けた授業で、PC・タブレットなどの ICT 機器を、どの程度使用しましたか ※週 3 回以上と答えた児童	48.2	-11.3
5	(2 9)	5 年生までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか	59.3	-8.3

※秋田県との比較から

児童質問紙調査のうち、秋田県の小学校 6 年生の肯定的回答の割合と仙北市の小学校 6 年生の肯定的回答の割合を比較して、差が－ 1 0 ポイント以下のものは次の表のとおりである。

NO	質問 番号	質問事項	肯定的 回答率	県比較
1	(6 1)	英語の勉強は好きですか	51.8	-23.3
2	(6 3)	英語の授業の内容はよく分かりますか	66.7	-15.2
3	(2 7)	5 年生までに受けた授業で、PC・タブレットなどの ICT 機器を、どの程度使用しましたか ※週 3 回以上と答えた児童	70.7	-12.1

(4) 中学校3年生にみられる望ましい傾向

※ 「肯定的回答率」の高い質問

中学校3年生の質問事項65項目に対する回答のうち、「肯定的回答」の占める割合（質問紙の選択肢のうち「よくある」と「時々ある」、もしくは「している」と「どちらかといえば、している」、あるいは「当てはまる」と「どちらかといえば、当てはまる」等の割合）が、92%を超えた質問は、以下の表のとおりである。

NO	質問 番号	質問事項	肯定的 回答率
1	(28-2)	1、2年生のときの学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を活用することについて、次のことはあなたにどれくらい当てはまりますか。分からないことがあった時に、すぐ調べることができる	98.7
2	(62)	1、2年生のときに受けた授業では、英語を読んで（一文一文ではなく全体の）概要や要点をとらえる活動が行われていたと思いますか	97.4
3	(43)	国語の勉強は大切だと思いますか	97.4
4	(41)	道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか	96.8
5	(3)	毎日、同じくらいの時刻に起きていますか	96.1
6	(10)	先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか	96.1
7	(37)	授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切にして、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいますか	95.5
8	(13)	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか	95.4
9	(15)	人の役に立つ人間になりたいと思いますか	94.8
9	(45)	国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	94.8
11	(61)	1、2年生のときに受けた授業では、英語を聞いて（一文一文ではなく全体の）概要や要点をとらえる活動が行われていたと思いますか	94.7
12	(65)	1、2年生のときに受けた授業では、自分の考えや気持ちなどを英語で書く活動が行われていたと思いますか	94.7
13	(40)	学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいますか	94.1
14	(33)	学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか	93.5
14	(28-6)	1、2年生のときの学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を活用することについて、次のことはあなたにどれくらい当てはまりますか。友達と考えを共有したり比べたりしやすくなる	93.5

16	(28・4)	1、2年生のときの学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を活用することについて、次のことはあなたにどれくらい当てはまりますか。画像や動画、音声等を活用することで、学習内容がよく分かる	93.4
16	(3・9)	あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級活動で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか	93.4
16	(4・7)	国語の授業で、話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結び付けて考えをまとめていますか	93.4
19	(6・4)	1、2年生のときに受けた授業では、スピーチやプレゼンテーションなど、まとまった内容を英語で発表する活動が行われていたと思いますか	92.8
20	(1・2)	人が困っているときは、進んで助けていますか	92.2
21	(3・6)	先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思いますか	92.1
21	(4・4)	国語の授業の内容はよく分かりますか	92.1

※ 全国との比較から

生徒質問紙調査のうち、全国の中学校3年生の肯定的回答の割合と仙北市の中学校3年生の肯定的回答の割合を比較して、差が+10ポイント以上のものは次の表のとおりである。(県の割合との比較は参考のために示した)

NO	質問 番号	質問事項	肯定的 回答率	全国 比較	県 比較
1	(6・0)	理科の授業では、自分の予想をもとに観察や実験の計画を立てていますか	88.2	+16.7	+5.2
2	(4・2)	国語の勉強は好きですか	80.4	+16.1	+4.7
3	(1・1)	将来の夢や目標を持っていますか	80.4	+14.1	+6.0
4	(4・0)	学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいますか	94.1	+13.5	+4.5
5	(4・7)	国語の授業で、話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結び付けて考えをまとめていますか	93.4	+12.9	+6.1
6	(4・8)	国語の授業で、自分の考えが伝わるように、表現の効果を考えて文章を書いていますか	88.9	+12.2	+4.8
7	(6・3)	1、2年生のときに受けた授業では、原稿などの準備をすることなく、(即興で)自分の考えや気持ちなどを英語で伝え合う活動が行われていたと思いますか	81.0	+12.2	+4.8
8	(6・2)	1、2年生のときに受けた授業では、英語を読んで概要や要点をとらえる活動が行われていたと思いますか	97.4	+11.8	+7.0

9	(58)	理科の勉強は好きですか	79.8	+11.5	-0.2
10	(61)	1、2年生のときに受けた授業では、英語を聞いて概要や要点をとらえる活動が行われていたと思いますか	94.7	+11.4	+7.2
11	(64)	1、2年生のときに受けた授業では、スピーチやプレゼンテーションなど、まとまった内容を英語で発表する活動が行われていたと思いますか	92.8	+10.4	+7.9
12	(56)	数学の問題が解けたとき、別の解き方を考えようとしていますか	56.2	+10.2	+1.2
13	(46)	国語の授業で話を聞いたり文章を読んだりするときに、具体的な情報と抽象的な情報との関係を捉えて理解していますか	88.8	+10.1	+3.5

秋田県との比較から

生徒質問紙調査のうち、秋田県の中学校3年生の肯定的回答の割合と仙北市の中学校3年生の肯定的回答の割合を比較して、差が+5ポイント以上のものは次の表のとおりである。

NO	質問 番号	質問事項	肯定的 回答率	県比較
1	(64)	1、2年生のときに受けた授業では、スピーチやプレゼンテーションなど、まとまった内容を英語で発表する活動が行われていたと思いますか	92.8	+7.9
2	(61)	1、2年生のときに受けた授業では、英語を聞いて概要や要点をとらえる活動が行われていたと思いますか	94.7	+7.2
3	(62)	1、2年生のときに受けた授業では、英語を読んで概要や要点をとらえる活動が行われていたと思いますか	97.4	+7.0
4	(47)	国語の授業で、話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結び付けて考えをまとめていますか	93.4	+6.1
5	(11)	将来の夢や目標を持っていますか	80.4	+6.0
6	(60)	理科の授業では、自分の予想をもとに観察や実験の計画を立てていますか	88.2	+5.2

(5) 中学校3年生にみられる課題とされる傾向

※ 「肯定的回答率」の低い質問

中学校3年生の質問事項65項目に対する回答のうち、「肯定的回答」の占める割合（質問紙の選択肢のうち「よくある」と「時々ある」、もしくは「している」と「どちらかといえば、している」、あるいは「当てはまる」と「どちらかといえば、当てはまる」等の割合）が、30%未満の質問は、以下の表のとおりである。

NO	質問番号	質問事項	肯定的回答率
1	(24)	新聞を読んでいますか	9.2
1	(22)	土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか ※2時間以上と答えた生徒	9.2
3	(21)	学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか ※2時間以上と答えた生徒	11.8

※ 全国との比較から

生徒質問紙調査のうち、全国の中学校3年生の肯定的回答の割合と仙北市の中学校3年生の肯定的回答の割合を比較して、差が－8ポイント以下のものは次の表のとおりである。

NO	質問番号	質問事項	肯定的回答率	全国比較
1	(21)	学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか ※2時間以上と答えた生徒	11.8	-20.1
2	(50)	数学の勉強は好きですか	47.8	-9.4

※ 秋田県との比較から

生徒質問紙調査のうち、秋田県の中学校3年生の肯定的回答の割合と仙北市の中学校3年生の肯定的回答の割合を比較して、差が－10ポイント以下のものは次の表のとおりである。

NO	質問番号	質問事項	肯定的回答率	県比較
1	(50)	数学の勉強は好きですか	47.8	-12.0
2	(21)	学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか ※2時間以上と答えた生徒	11.8	-11.1

(6) 仙北市学校教育目標に関わる事項の経年比較

仙北市の学校教育目標に関わる項目についての直近3年間の肯定的回答率の変化を次に示す。

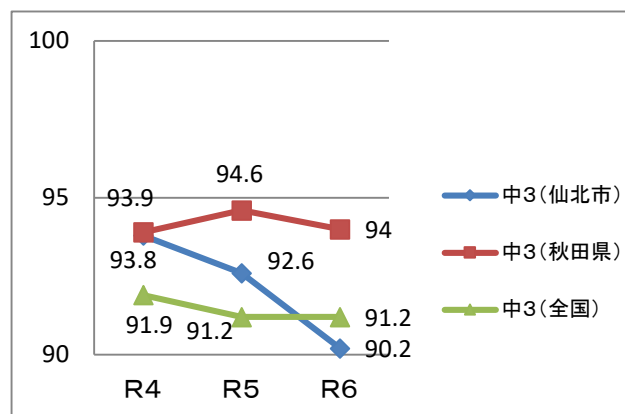
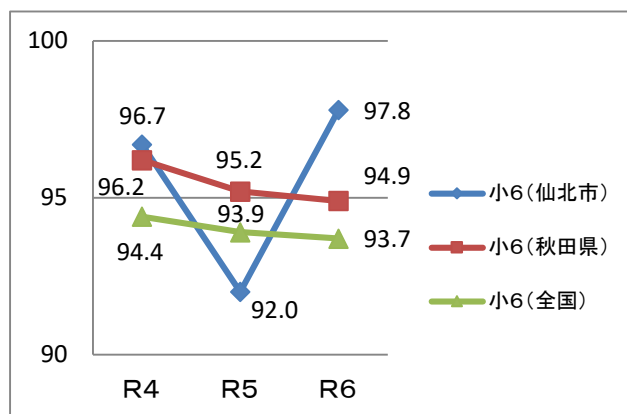
学校教育目標

「ふるさを愛し、豊かな心・確かな学力・健やかな体をもち、

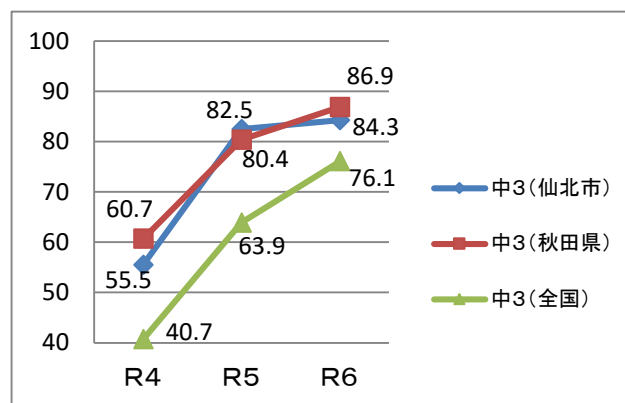
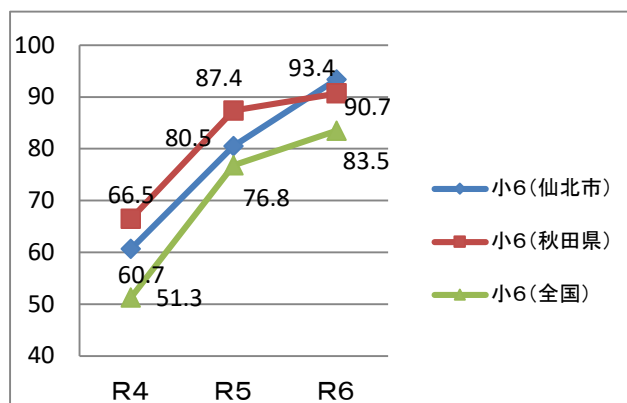
未来の地域や社会を支える意欲と高い志にあふれる仙北の子ども」の育成

～「骨太の人間の育成」「仙北市プライドの醸成」～

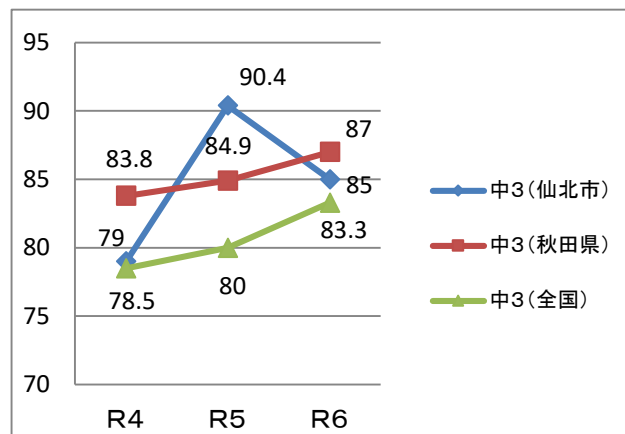
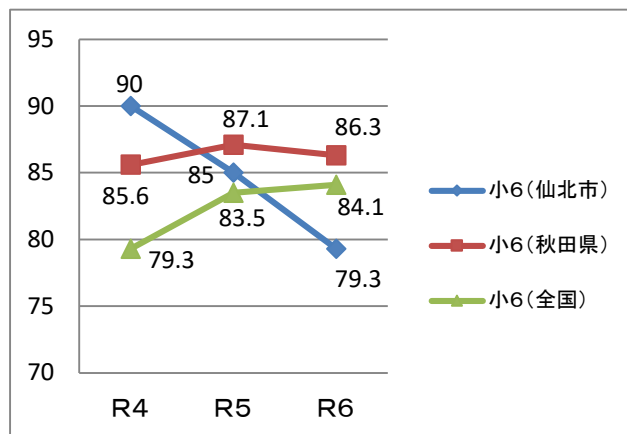
☆朝食を毎日食べていますか



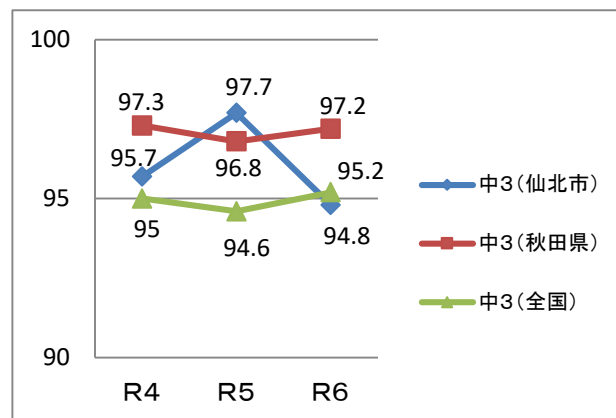
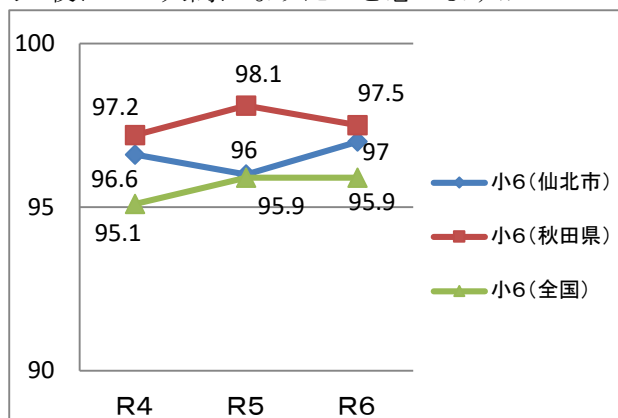
☆地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか



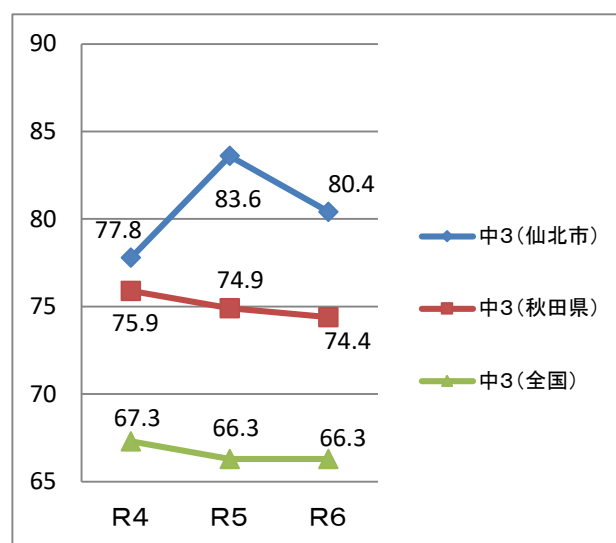
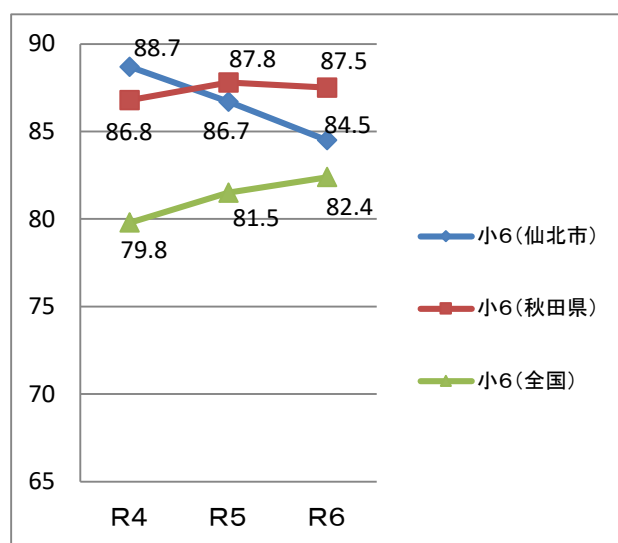
☆自分には、よいところがあると思いますか



☆人の役に立つ人間になりたいと思いますか



☆将来の夢や目標を持っていますか



Ⅳ 改善の方法

1 全体的な取組として

(1) 指導改善の具体策

教科に関する調査、児童生徒質問紙から見えてきた仙北市の課題を解決するために、それぞれの部会で出された具体策を次に示す。

<①小学校国語部会で出された具体策>

◇必要な力

- ・要約する力 ・要旨を的確に捉える力 ・二つの資料からコンパクトに考察する力
- ・教科横断的な読み取り能力（グラフの読み取り）

◇力をつけていくための取組

- ・字数を制限して書くことを日常的に行う
- ・普段の授業の振り返りを字数制限して書かせる
- ・資料から読み取ったこと、気づいたことをメモする
- ・国語＝縦書きという概念からの脱却↓横書きの文章に慣れさせる

<②中学校国語部会で出された具体策>

◇必要な力

- ・主語と述語、修飾と被修飾、接続する語句の役割、段落の役割について理解する力。

◇力をつけていくための取組

- ・口頭での発表に終わらず、書いて文章にまとめさせる
- ・多様な意見を引き出す受容的な雰囲気の中で授業を行う
- ・キーワード・キーセンテンスをつないで文章化する学習、比較させる学習、作品を俯瞰して分析する学習など、多様な学びの形態の工夫
- ・古典でも自分の考えを書かせる学習等を大切に授業を構築する

<③小学校算数部会で出された具体策>

◇必要な力

- ・場面に応じて速さの比べ方を考察し、自分の言葉で表現する力。

◇力をつけていくための取組

I. 言葉で表す機会を増やす。

- ・式だけでなく、キーワードを使った言葉で書かせる。
- ・自分の言葉でまとめる。
- ・最後まで発表していないものを先生が引き継いでまとめない。

II. 分かった気になっている子どもに確認の機会を設ける。

- ・きちんと表出させる活動を行う。（書く・伝え合う）
→「同じです」で終わらせない。

Ⅲ. 数的感覚を養う。

- ・実体験を通して、距離的、時間的感覚を身に付けさせる。

<④中学校数学部会で出された具体策>

◇必要な力

- ・問題解決のために数学を活用する方法を考え、説明する力。

◇「問題理解→問題解決→言語化」の流れの中で必要な力を育てていく。

Ⅰ. 問題理解力向上のために

- ・キーワードの抜き出し。
- ・ゴール（求めるもの）の確認。

Ⅱ. 問題解決のために

- ・見通しの場面で数学的見方・考え方を働かせる。
- ・大前提としての基礎的・基本的学力の定着が不可欠。

Ⅲ. 言語化のために

- ・問題解決の結果を人に伝えるために必要な情報の収集。
- ・問題づくりの授業を取り入れる。
- ・自分の言葉で言い直させる。
- ・単元を通した言語化の指導を意識する。

<⑤小学校研究主任会で出された具体策>

- ・言語活動の充実について
 - ①教師が「対話のねらい」を明確にもつ
 - ②児童にも「対話のねらい」を意識させる
 - ③「書く」活動を省かない
- ・学習の振り返りについて
 - ①振り返りの視点を明示する
 - ②自己の変容について振り返る機会を増やす
- ・基礎・基本の定着に向けて
 - ①授業で切り返しの質問を投げかける
 - ②基礎テスト（漢字・計算）を実施する
 - ③わか杉思考コンテスト等への挑戦を促す

<⑥中学校研究主任会で出された具体策>

- ・授業内での実践について
 - ①一問一答形式でない発問を工夫する
 - ②基本の話型に沿った発表への支援をする
 - ③教師がコーディネーターとなり、生徒主体で課題解決を図る授業の構築をする
- ・生徒指導の実践上の視点を生かす
 - ①安心・安全な風土づくりをする

→言語活動の充実に不可欠な「何でも話せる雰囲気」の醸成

- ②授業に集中できる机上環境の整理をする
- ③相互評価の場面を設定する
- ・語彙力アップに向けて
 - ①N I E への取組を促進する
 - ②言語活動の系統表の作成と指導の充実を図る

(2) 各中学校区の情報交換から

各校の課題及びその改善に向けた取組について、中学校区毎に情報交換を行った。共通する成果、課題を洗い出し、課題に対して、9年間を見通した対応策を話合った。

△共通する課題『生徒指導面』

- ①他と違う意見に不安を感じる児童・生徒が多い
- ②主体的に学ぶ姿勢が足りない
- ③自己表現が苦手

○対応策

- ①他と違う意見に対する価値付けをする
- ②学習規律の徹底と魅力ある授業構築をする
- ③小・中連携で取り組めることを増やす（授業・集会・あいさつ運動など）

△課題『学習指導面』

- ①活字に触れる機会の不足
- ②基礎学力の定着
- ③授業で学んだこと生活の中で活用する能力

○改善策

- ①中学生から小学生へのおすすめの本の紹介をする
読み聞かせの機会を増やす
- ②授業内で「定着の時間を確保する」
個別最適な学習の推進を図る（I C Tを活用して）
- ③教科横断的な学習の推進を継続する

学習指導面の課題を話し合う中で、どの中学校区でも「読解力・表現力」の向上について話題になった。

(3) 共通実践すべき具体的方策

先述の結果を踏まえ、仙北市内小中学校で共通理解の上で共通実践すべき方策を

- ①「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実
- ②探究型授業の基本プロセスを機能させた I C T の活用

③心の通い合う明るいあいさつの励行

④共感的な集団づくりのための「温かさや思いやりのある言動」の奨励

生徒指導提要の改定に伴い、生徒指導の実践上の視点に「安全・安心な風土の醸成」が加えられたことから、「あいさつから始まる解放された人間関係」の構築を目指し、上記4つを柱として実践を行っていく。

同一中学校区での研修や研究、情報交換等による義務教育9年間の系統的・段階的な指導の更なる充実を目指すとともに、「共通で目指す子どもの姿」、「共通で取り組んでいること」を可視化するなど明確にしてその実践を継続していく。

2 学年・教科・区分・設問ごとの具体的な改善の方策

学年・教科・区分について設問ごとの結果から、改善のために検討の余地があるものについては、次の資料等を活用して、課題解決を目指す必要がある。

- 「全国学力・学習状況調査 秋田県調査結果の概要」

〈令和6年10月 秋田県検証改善委員会〉

- 「令和6年度 全国学力・学習状況調査報告書」

「令和6年度 全国学力・学習状況調査の結果を踏まえた学習指導の改善・充実に向けた説明会」説明資料

〈令和6年8月 国立教育政策研究所〉

- 「言語活動の充実に関する指導事例集～思考力・判断力・表現力の育成に向けて～」

【小学校版】

〈平成22年12月 文部科学省〉

【中学校版】

〈平成23年 5月 文部科学省〉

- 「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料

〈令和2年3月 国立教育政策研究所〉

3 改善のための仙北市教育委員会の教育施策のあり方について

1 地域の人材活用の仕組み作りと財政的支援

仙北市教育委員会は学校における地域人材等の活用及び特色ある取組について、一層の支援を行う必要がある。

本市教委では平成20年度から「学校教育バックアップ事業」を開始し、市内の各小・中学校で教育支援活動をしている地域住民を「バックアップチーム」として登録し支援している。今後も小・中学校において、授業場面での活用や授業サポートとしての活用を行い、事業を充実させていく。

また、平成25年度からは、各学校の特色ある「ふるさと教育・キャリア教育を推進する取組」や教材の充実に対し一層の財政的な支援も実施している。平成26年8月には「キャリア教育の視点を重視したふるさと教育」指導資料として冊子「ふるさと仙北学」を発行、

各校に配布した。平成27年12月にも同冊子を増刷し、各校に配布した。ふるさと教育を基盤とした取組の充実が児童・生徒の生きる力、地域社会における自己有用感の育成につながるようさらに働きかけていく。

さらに、学校・家庭・地域総合推進事業を立ち上げ、地域学校協働本部を設置し、コミュニティスクールを設置していく中で、地域人材活用の仕組み作りに取り組んでいる状況である。

2 北浦教育文化研究所研究委員会の充実について

上記Ⅳ－2の各種資料については、各学校の研修における活用とともに、研究委員会での研修内容として取り組むことが必要と考える。研究委員会の組織の見直しと併せ、各校の充実した取組に効果のある研究委員会の開催を目指す。

資料 1

「全国学力・学習状況調査」結果取扱要綱

平成19年12月20日
教育委員会告示第19号

最終改正 令和元年10月教育委員会告示第22号

(目的)

第1条 この要綱は、文部科学省が実施する「全国学力・学習状況調査」(以下「本調査」という。)の仙北市及び仙北市立小・中学校の調査結果について文部科学省から提供される情報(以下「結果」という。)の取扱について必要な事項を定めることを目的とする。

(結果の公表)

第2条 仙北市教育委員会は公立学校設置管理者として地域住民及び保護者に対して結果についての説明責任があることから、次のことに配慮しながら本調査の結果を公表する。

- (1) 教科に関する調査結果の数値による公表や、個々の学校名を明らかにした公表など、結果の公表が学校間の序列化や過度な競争につながるような公表は行わないこと
- (2) 本調査の結果から教育及び教育施策の成果と課題を把握しその改善を図る必要があること
- (3) 本調査の結果の分析を踏まえて仙北市教育委員会として今後の改善方策を併せて示す必要があること
- (4) 本調査により測定した学力は特定の一部であること
- (5) 本調査により測定した学力は固定値ではなく変化するものであること

(結果の公表の内容)

第3条 文部科学省が市町村教育委員会に提供する結果の資料(別表1)について、公表に係る取扱は次の通りとする。

- (1) 「1」の公表については、国及び県の平均正答率と比較して(別表2)の「階層区分」によりそれぞれの比較結果を(別表2)の「表現」に基づいて公表する。「階層区分」と「表現」の関係についても併せて公表する。平均正答率の比較以外の結果は公表しない。
- (2) 「2」の公表については、「学習指導要領の領域別」「評価の観点別」「問題形式別」に国及び県の平均正答率と比較して(別表2)の「階層区分」によりそれぞれの比較結果を(別表2)の「表現」に基づいて公表する。「階層区分」と「表現」の関係についても併せて公表する。各設問ごとの結果の比較は公表しない。
- (3) 「別表1」の「3」については、仙北市全体の特に顕著な傾向を示すものについて公表する。

- (4)「別表 1」の「4」については、公表する。
- (5)「別表 1」の「5」については、仙北市全体の特に顕著な傾向を示すものについて公表する。
- (6)「別表 1」の「6」～「8」は公表しない。

(改善策の立案)

第 4 条 結果を受けた改善策は仙北市教育委員会北浦教育文化研究所「研究主任部会」及び「算数・数学学習指導研究委員会」、「国語学習指導研究委員会」に改善策の立案に必要な若干名の特別委員を加えた「仙北市『全国学力・学習状況調査』結果分析・改善委員会」において、次の内容について立案し教育委員会に報告する。

- (1)主として「知識」に関する問題について、結果に応じてその内容を確実に児童生徒に身に付けさせる方策について
- (2)主として「活用」に関する問題について、実生活の様々な場面に活用する力や様々な課題解決のための構想を立て、実践し、評価改善する力を身に付けさせるための授業改善のあり方について
- (3)改善のための仙北市教育委員会の教育施策のあり方について
- (4)その他

(結果の公表の方法)

第 5 条 第 3 条に示す公表の内容及び第 4 条に示す改善策は、仙北市教育委員会北浦教育文化研究所において、改善策の策定後すみやかに報告書を作成し公表する。

(情報公開)

第 6 条 仙北市情報公開条例第 7 条 6 号を根拠として第 3 条に示す公表内容以外の情報は不開示情報とする。

(その他)

第 7 条 この要綱に定めるもののほか、必要な事項は教育長が別に定める

附則

この告示は、平成 19 年 12 月 20 日から施行する

附則

この告示は、平成 26 年 11 月 28 日から施行する

附則

この告示は、令和元年 10 月 1 日から施行する

(別表 1) 「文部科学省が市町村教育委員会に提供する資料」(第 3 条関係)

	内 容	備 考
1	各市町村域内の公立学校全体の各教科区分別の調査結果概況	(1) 棒グラフ (正答数別児童生徒の割合) (2) 数値 (正答数別の児童生徒数、平均正答数、平均正答率、中央値、標準偏差)
2	各市町村域内の公立学校全体の各教科区分別の設問別調査結果・解答類型別調査結果	(1) 表 (「学習指導要領の領域別」、「評価の観点別」、「問題形式別」の平均正答率) (2) 表 (各設問ごとの「学習指導要領の領域別」、「評価の観点別」、「問題形式別」の正答率、無回答率)
3	各市町村域内の公立学校全体の質問紙調査の回答状況	(1) 表 (児童生徒質問紙の各質問の選択し別の児童生徒数、割合) (選択肢別の学校数、選択肢別の学校数の割合) (2) 棒グラフ (各質問の選択肢別の児童の割合) (選択肢別の学校の割合)
4	各市町村が設置管理する学校の参加概況等	
5	各市町村域内の公立学校全体の各教科区分別の調査結果と児童生徒質問紙調査の結果のクロス集計表	(1) 表 (各質問について*四分位層ごとに選択肢別の児童生徒数) (2) 表 (各質問について*四分位層ごとに選択肢別の児童生徒数の割合)
6	各学校の各教科区分別の調査結果概況	各学校に提供される情報
7	各学校の各教科区分別の設問別調査結果・解答類型別調査結果	各学校に提供される情報
8	各学校の各児童生徒の各教科の調査・児童生徒質問紙への解答(回答)状況	各学校に提供される情報

「*四分位層」…成績の上位から 25% のきざみで 4 つのグループに分け相関の度合いを示す

(別表 2) 「(別表 1) の 1 及び 2 の公表に係る階層区分と表現」(第 3 条関係)

	階層区分	表現
1	国及び県の平均正答率と仙北市の平均正答率の差が +6% 以上であるもの	十分満足できる状況
2	国及び県の平均正答率と仙北市の平均正答率の差が +6% 未満～-6% より大きい状況であるもの	おおむね満足できる状況
3	国及び県の平均正答率と仙北市の平均正答率の差が -6% 以下であるもの	改善が必要な状況